



2009年 4月27日

各 位

会 社 名 積水化学工業株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 根岸 修史  
(コード番号4204 東証・大証 市場第一部)  
問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部長 篠 秀一  
電 話 番 号 03-5521-0522

## 米国企業からの中間膜原料の事業買収について

積水化学工業株式会社(代表取締役社長:根岸修史、以下積水化学)は、本日開催の取締役会において、新たに設立予定の子会社がこの度米国化学会社 Celanese Corporation([セラニーズ コーポレーション]、CEO: David N. Weidman、本社: テキサス州。以下、セラニーズ社)のグループ会社からポリビニルアルコール樹脂(以下、PVA樹脂)事業を買収することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 背景および譲受けの理由

積水化学の高機能プラスチックカンパニー(プレジデント:松永隆善)では、合わせガラス用中間膜(以下、中間膜)の事業を戦略事業と位置付け、グローバルに展開しております。特に自動車向けの中間膜は世界で42%(2008年度、当社推測)のトップシェアを誇ります。

中間膜は、ポリビニルブチラール樹脂(以下、PVB樹脂)を製膜化することにより製造しますが、この度PVB樹脂の原料であるPVA樹脂事業を買収することにより、安定的な原料供給体制を構築するとともに、需要地生産の促進、原料面での技術シナジーの発揮等、サプライチェーンの強化を図ります。

#### 【中間膜の原料サプライチェーン】

酢酸 → 酢酸ビニルモノマー → PVA樹脂 → PVB樹脂 → 合わせガラス用中間膜

### 2. 事業の譲受けの内容

#### 1) 設立する子会社

セラニーズ社のPVA樹脂事業を譲受けるため、米国およびスペインに2009年5月に設立予定。

#### 2) 譲受け部門

- ①内 容 セラニーズ社のPVA樹脂事業に係る資産(設備、棚卸資産および知的財産権等)
- ②生産拠点 パサデナ(米国テキサス州)、カルバートシティ(米国ケンタッキー州)、タラゴナ(スペインカタルーニャ州)
- ③生産能力 約120千トン/年

#### 3) 譲受け部門の経営成績

売 上 高 US\$296百万(2008年12月期実績)

#### 4) 譲受け価額

約US\$173百万(約168億円)

### 3. セラニーズ社の概要

- 1) 社 名 Celanese Corporation
- 2) 本店所在地 米国テキサス州ダラス市
- 3) 代 表 者 David N. Weidman
- 4) 大 株 主 FMR LLC 16.1%  
 Adage Capital Partners LP 10.2%  
 UBS AG 6.9%  
 Bank of America Corporation 6.1%  
 Wellington Management Company LLP 5.3%
- 5) 事業の内容 酢酸、酢酸ビニルモノマーおよびPVA樹脂の製造・販売等
- 6) 売 上 高 US\$6,823百万(2008年12月期実績)
- 7) 当社との関係 資本的関係、人的関係、取引関係はありません。
- 8) そ の 他 資産の譲受けについては、セラニーズ社のグループ会社である Celanese Ltd (米国) および Celanese Chemicals Iberica S.L. (スペイン) から行います。

### 4. 事業譲受け日程

2009年6月予定

### 5. 会計処理の概要

のれんおよびその他資産に関しては、第三者の評価を踏まえ決定いたします。

### 6. その他

今後の業績その他未決定事項につきましては、詳細が決まり次第お知らせいたします。

## 《ご参考》

### 1) 中間膜の生産拠点一覧

	工場名	場所	稼動時期等	生産品
製膜	滋賀水口工場	滋賀県甲賀市	1960年	通常膜、遮音膜、遮熱膜、遮音・遮熱膜
	メキシコ工場	メキシコ・クエルナバカ市	1971年	通常膜
	オランダ工場	オランダ・ルールモンド市	1997年	通常膜、遮音膜
	タイ工場	タイ・ラヨン県	2002年	通常膜
	中国工場	中国・江蘇省蘇州市	2004年	通常膜
	アメリカ工場	アメリカ・ケンタッキー州	2007年	通常膜、遮音膜
原料	滋賀水口工場	滋賀県甲賀市	1960年	PVB樹脂
	オランダ工場	オランダ・ヘレーン市	2007年	PVB樹脂
	アメリカ工場	アメリカ・テキサス州	この度 買収する 生産拠点	PVA樹脂
	アメリカ工場	アメリカ・ケンタッキー州		PVA樹脂
	スペイン工場	スペイン・カタルーニャ州		PVA樹脂

## **2) 当社の自動車向け中間膜事業について**

当社の中間膜事業は、アジアにおける自動車生産台数の増加や、自動車1台あたりのガラス面積の大型化に対応して生産量が拡大しています。また、日本や欧米での車内快適性向上のニーズにあわせて開発した、遮音膜、遮熱膜、遮音・遮熱膜など高機能中間膜の需要も増えてきています。

現在、当社の遮音膜は、世界の新車の7台に1台の割合（2007年度、当社推測）で採用されており順調に拡大しています。また、通常膜においても中国を中心としたアジアでの需要が順調に拡大しています。

今後は、高機能中間膜の開発と拡販をより積極的に進め、さらなる事業の拡大を図ります。

事業目標として、2010年度におけるグローバルシェア44%を目指します。

以 上